

第8回 定例教育委員会議事録		日 時 : 平成29年8月25日 (金)	
		場 所 : 3階中会議室	
開会、閉会に関する事項		10時00分 開会 11時07分 閉会	
出席委員	教育長 森 和 範 永 野 治 川 原 惟 昭 久保田 悦 子	議場 に 出 席 し た 者 の 氏 名	総 務 課 長 大 山 勝 徳 学 校 教 育 課 長 高 崎 良 一 社 会 教 育 課 長 中 村 政 仁 給食センター所長 田 中 健 一 文化スポーツ課長 山 元 国 枝 書 記 万 膳 正 見 書 記 新 納 誠 朗
	議事日程		別紙のとおり
審 議 状 況			
<p>(森教育長) それでは、ただいまより平成29年第8回定例教育委員会を開会します。</p> <p>(万膳係長) 姿勢を正して下さい。一同礼。</p> <p>(森教育長) 本日は、長野則夫委員から体調不良のため欠席の届が来ておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、まず、「平成29年第7回定例教育委員会議事録の承認」を議題とします。事務局より報告をお願いします。</p> <p>(万膳係長) 平成29年第7回定例教育委員会議事録について報告(別紙概要報告書により報告)</p> <p>(森教育長) ただいま事務局より前回の議事録の報告がありました。ご質問等ないでしょうか。</p> <p>(全員) ありません。</p> <p>(森教育長) 質問がないようですので承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(全員) はい。</p> <p>(森教育長) 平成29年第7回定例教育委員会議事録については、承認いたしました。 続きまして、教育長及び委員の報告に移ります。</p> <p>(森教育長) それでは、お手元の教育長諸般の報告に基づき平成29年7月25日から平成29年8月24日までの報告をいたします。</p>			

(別紙諸般の報告により日を追って報告)

(森教育長)

委員の皆様方、報告をお願いしたいと思います。永野委員の方からお願いします。

(永野委員)

小学校水泳記録会ですが、学校間の記録に格差がなくなって、レベルが変わらなくなって、小規模校が非常に指導を一生懸命されているのだなあと感じました。ただ、観覧の子どもたちの応援にばらつきがあったと感じました。子どもたちが指導で盛り上がっているところと、そうでないところがあったと思いました。

8月1日の人権同和教育研修会ですけれども、講演をされた方、コントをされた3人の内、2人は知り合いの先生で、非常に懐かしく感じました。良い研修になりました。

7月31日の学校管理職研修会と講師との懇談会は、先生の講義も非常に分かりやすく、この会にコミュニティ関係者と議員の方々を出席依頼したというのは非常に的を得ておりまして、もっと市民に啓発活動をした方が良いと思いました。地元同士で研修するより、外部から呼んで、実践を間近に聞けるというのは、非常に直接的で良いので、今後ともこのような形でやってもらいたいと思いました。参加した方々も「良く分かった」とか「良かった」とか聞いておりますのでこのような研修を続けてほしいと思っています。

8月3日～4日の宮崎でありました教育委員の研修ですが、川原委員と参りました。隔年で開催される九州大会でしたので、文科省の研究大会と異なって、地元宮崎の教育の実態等がパネルディスカッションでありました。講演は地元の都井岬の馬の話で、野生化して人間が一切関わっていないというのは、世界でも都井岬しかないという内容で、びっくりしました。自然に放牧され、自然に育っている環境というのは世界で類がないそうですね。死骸をそのまましており、処分しないらしいです。自然に死んでいくため寿命は短いらしいです。人間が管理していないので、管理している所は長生きしているとのこと。我々は管理をされているのかと思っていましたが、そうではないということです。そのことが非常に興味を引いて聞いておりました。馬は人間に近い動物ですが、人間と自然と隔離されているということです。

パネルディスカッションはキャリア教育に関する話で、地元の中学生在が地元の高校に行き、地元の企業に勤めるという小中高、社会までの一貫の教育を取組んでいるという話でした。日向市が全面的にやっており、パネラーは商工会、市観光課、学校関係で、全て日向市の方々でした。地域性のある自分たちの話ばかりでしたので、教育の研修とは少し違いましたが、そのような取組みをやっているということです。キャリア教育を商工会を始め、地元が全面的に協力している。鹿児島県とは違って高校存続関係を地元はもちろん行っていますが、我々は県がすると思っていますが、日向市は市がもっとがんばらないといけないというような言い方でした。質問しようかと思っておりましたが、質問時間の設定がなかったものですから。そうではなくて、県も一緒になって、がんばらないといけないのではないかと思います。市長ががんばらないといけないともおっしゃっていましたが、とにかく、地元の少人数の高校と数少ない企業で取組んでおり、人材を地元を活かす取組みをキャリア教育としてやっているという話でありました。川原委員からもあると思いますが、小学校、中学校で行っていることの紹介がありまして、発表みたいなパネルディスカッションのかたちでした。以上です。

(教育長)

川原委員、お願いします。

(川原委員)

小学校水泳記録会ですが、以前は元気な先生がいらっしゃって、プールサイドで大声で激励をする姿があったのですが、そういう元気のある先生いなかったの、盛り上がり欠けたと感じる大会ではなかったかと思いました。新記録も2種目は出ましたけれども、少子化で各種目に出る児童がない学校も出てきており、寂しい感じもしました。母校の山野小も少なく、これだけの種目だけしか出ないのかと思いながら応援をしました。

7月31日の学校管理者研修会ですが、幅広く参加者の声かけをしてあって、コミュニティ・スクールの勉強会というのが柱にあった訳ですけども、非常に良かった。コミュニティ、自治会関係が参加して、市内の幅広い人に声をかけて参加していたというのが意義のあることで、コミュニティ・スクールを各校区で導入する時の理解が深まったのではないかと、こういうものかということが、それぞれの立場の人がそれぞれの立場で理解をされたのではないかと思います。良い研修会でした。

教育委員九州大会ですが、教育講演とパネルディスカッションがメインになっておりました。岬馬と人馬一体になっている人の話で、出身が栃木県で大学は山形大学に行かれ、岬馬との縁があって宮崎大学に入られ、今、串間に住み着いている人で、馬が好きでたまらないという人の熱の入った講演でした。現在も115頭の馬が自然のまま都井岬で生息しているということなのですが、50年分の家系図があり、全ての家系図ができていたというのが印象的でした。人間よりもはっきりしていて、この子は孫、祖父まで分かっていますとの話です。自然のままであるのに家系図ができていて、すごいことで、資料として残っている。また、馬と人間の利害関係が全くない自然の中でやっている、馬は人間が好きなんだけれども、近寄ると、「ああ、人間か」と無視される。「寄ってこないで」自分たちの世界があるんだとの講師の話、携わっている人しか感じない表現だと思いました。馬からそう見られていますと言われたことが心に残りました。物足りずに移住してきた講師ですので、これからも岬馬について、いろいろと発信されるのではと思いました。

パネルディスカッションですけども、キャリア教育というテーマでありました。産官学が一緒になってやりますということで、パネリストも商工会議の会長、教育委員会の教育長、学校の校長先生、コーディネーターが宮崎県の教育支援センターの先生と幅広い方たちでのディスカッションでした。すごいと思ったのは「世の中教室」というのを開いて、定着させて取り組んでいますとのことでした。日向市の大人は皆さんが子どもたちの先生ですよということで、市に登録してもらい、学校で授業をしてもらう。そうすると、地元企業に入った若い社員が授業をする。働いている青年にも勉強になるし、地元にもこのような企業があるということを中学生に動機付けできる、魅力があるということで紹介をされました。非常に幅広いため学校の教育、勉強以外に役立っている。社会人にも、子どもたちにも役立っているというのが、ユニークな取組みで、若い社員が子どもたちの前で話すことにより、いったん立ち止まって考える機会になり、仕事を見直す気付きになる。紹介された社員が気付くということ。それが、子どもたちにも気持ちが伝わるのではないかと話された。日向市内だけの話でしたので、これを始めた日向市、企業も大変だったのではと思いました。以上です。

(森教育長)

久保田委員、お願いします。

(久保田委員)

水泳記録会ですが、終了後、文化スポーツ課の企画でカヌーで演技をされたのが非常に良かったと思いました。子どもたちも、身近でカヌーを見る機会は、なかなか無いと思いますので、私たちも見入ってしまったのですけれども、これからカヌーに興味を持って、やってみようかとなる良い機会になったのではと、良い企画をされたと思いました。

菱刈校区ラジオ体操の集いでは、中学生、高校生が、がんばってくれました。前々日の夜に集まって、汗が出るぐらい練習をしてくれたので、地元住民からも、高校生、中学生が人前に出る機会を与えるというのは良いことだと言っていた。開催して良かったなあと思いました。以上です。

(森教育長)

ありがとうございます。

「世の中教室」ですが、企業の人が講師になる、これは日向市が自分たちで創った事業なのですか、それとも、国からの何か、地域おこしみたいな事業なのですか。どちらでしょうか。

(永野委員)

声をかけたのは市ではないでしょうか。

(川原委員)

登録300人を目指しますということですから、日向市で登録して、お願いをするということですから。

(森教育長)

教育委員会が立ち上げたのですか。

(永野委員)

独自ではないと思っています。国の教育事業ではなく、補助の話は出なかったのですが、商工会議所が前面に出ている。冒頭のあいさつも商工会議所の会長でしたから。商工会議所が日向市のキャリア教育支援センターを開設したと。それには多分補助が出ていると思います。教育だけに限らず、地方創生の一部ではないかと私は思いました。そういう話はありませんでしたが、言われている中身が会議所が中心になって支援センターを開設して創ったということで、タイアップしてやっており、あくまでも中心は商工会議所でした。地元をどうにかしなければならぬということで、上手い具合に教育をからめて市が一体となって、取組んでいる事業だと思うのです。伊佐でも同じようなことは言えると思います。ばらばらではなく一箇所で「世の中教室」というのを各小中学校でやる、社会人が講師となってやる。伊佐市の商工会がやっているかという、多分受け入れるだけで、組織としてはやっていない。教育を絡めてやっている。

(森教育長)

そういう考え方が生まれるというのが、日向市の素晴らしいところですね。

(永野委員)

県ではなく地元ががんばらないといけないということです。地域づくりだと思います。人材がないから、それは地元の人間しかいないんだということになると思います。

(森教育長)

教育長及び委員の報告についてはよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(森教育長)

では、議事に進みたいと思います。

今回は、付議事件が4件ございます。

まず、議案第33号「平成29年度伊佐市一般会計補正予算（第4号）について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

(大山総務課長)

議案第33号「平成29年度伊佐市一般会計補正予算（第4号）について」説明いたします。

9月議会が1日から始まりますが、今回、教育委員会では全ての課で補正予算要求を提出しております。資料につきましては、別添の一般会計補正予算参考資料をご覧ください。主なものだけを説明します。歳入から説明しますが、5ページになります。

(款13) 国庫支出金 (項2) 国庫補助金 (目7) 教育費国庫補助金 (節1) 小学校費補助金 55万6千円の内訳は、42万3千円の増額が、小学校理科観察実験支援員の支援活動経費に係る「理科教育設備整備費等補助金」の交付決定通知があったことに基づいた増額と、「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金」の小学校費 13万3千円及び中学校費 3万4千円の合計が16万7千円の増額となっておりますが、コミュニティスクール関係の補助金内定通知があったためのものです。

次に、6ページ (款20) 市債 (項1) 市債 (目7) 教育債 (節1) 小学校債 小学校小規模改修事業 4,800千円の減額は、羽月小学校 旧幼稚園建物解体工事に伴う予算を起債対応で予定しておりましたが、事業が起債の対象外となったために減額となります。

次に、歳出ですが7ページです。(款10) 教育費 (項1) 教育総務費 (目3) 教育振興費 (節14) 使用料及び賃借料 9万7千円の増額は、南さつま市立坊津学園への先進地研修視察に要するバス借上げ料になります。(款10) 教育費 (項2) 小学校費 (目1) 学校管理費 (節15) 工事請負費 (電気工事) 1千125万3千円は、小学校の特別教室への扇風機設置工事に係る経費となります。普通教室は扇風機を完備しておりましたが、最近の猛暑に対応するため、全小学校の特別教室60教室に265台の扇風機を設置しようとするものであります。(項3) 中学校費 96万8千円についても同様に、3教室20台分の扇風機設置費となります。

8ページになります。(項5) 社会教育費 (目1) 社会教育総務費 (節11) 需用費 印刷製本費 6万5千円は人権同和教育に関する啓発用チラシ12,000枚分の印刷費となります。同じく、(項5) 社会教育費 (目) 社会教育施設管理費 (節13) 委託料 62万3千円は、特殊建築物法定点検に係る委託料となります。菱刈環境改善センター分の点検委託料です。

次に9ページです。(項6) 保健体育費 (目3) 学校給食センター費 (節11) 需用費 修繕料 19万3千円は、センター内にある食器洗浄機の部品交換に係る修繕料です。同じく、(目4) 体育施設管理費 (節18) 備品購入費 10万9千円の減額は、旧羽月北小学校区に設置してあるAEDを耐用年数を経過したため機器更新を行いました。執行残が出ましたので減額の措置となります。以上が今回の補正予算要求の内容となります。

(森教育長)

ただいま、事務局より説明がありましたが、ご質問、ご意見等無いでしょうか。

(永野委員)

小学校特別教室の扇風機設置がありましたが、各クラスにはもちろん設置済みであって、特別教室を除けば全部あるということですね。職員室はどうなんですか。

(大山総務課長)

職員室は置型のものがあり、それに対応をされております。

(永野委員)

はい、分かりました。

(森教育長)

そのほか、ご質問等ございませんでしょうか。

ご質問、ご意見無いようですので議決に入りたいと思います。

議案第33号「平成29年度伊佐市一般会計補正予算（第4号）について」原案賛成の方、挙手をお願いします。

(全員挙手あり)

賛成多数でありますので、議案第33号は議決されました。

次に議案第34号「物品の取得について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

(大山総務課長)

議案第34号「物品の取得について」説明いたします。資料は、4ページになります。本件につきましては、市内小中学校の教育の情報化に関し、ICT 教育用コンピューターの更新としてタブレットパソコンを導入する予定としておりますが、物品取得の契約額が、2,000万円を超える高額となっていることから、議会の議決に付きなければならない案件となります。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、議案について市長から意見を求められたことに伴い、伊佐市教育委員会の行政組織等に関する規則第11条第2号の規定により、お諮りするものでございます。取得金額は9千579万6千円で、契約の相手方は鹿児島市のパステムソリューション株式会社となります。

なお、購入する機器の明細としましては、5ページにありますように、教育用サーバー16基、教育用タブレットパソコン19台、児童・生徒用タブレットパソコン331台等となります。以上です。

(森教育長)

当初で予定されておりました、教師用及び児童・生徒用のタブレット型パソコンの購入について、でございます。ただいまの説明について、ご質問、ご意見等無いでしょうか。

(永野委員)

取得ということは、入れ替えではなく、新たにということですか。古くなって入れ替えて新しく設置するのですか。

(高崎学校教育課長)

今まではデスクトップパソコンを使用しておりましたが、タブレット型パソコンはそれぞれの教室で使用するということを含めて更新になります。

(永野委員)

今までのものは廃棄となるのですね。今は機器が発達しますので、何年ぐらいで更新を見込んでいるのですか。

(高崎学校教育課長)

5～6年というところだと思います。

(永野委員)

前のデスクトップは何年もちましたか。普通は保証期間とかある訳ですから、想定としてお

金も無い訳ですから、どれぐらいもつかを目安に長期計画をある程度立てておかないと、足らなくなったから、どんどんお金を繰り返すことが無いようにすることが必要かと思います。

(高崎学校教育課長)

前は21年度に購入しておりまして、8年が経過しております。ウインドウズとかのOSの更新も含まれております。

(永野委員)

以前は個人のパソコンにしてもウィルスソフトを購入し入れていたが、今はネットでできるようになっていますね。そうすると、そのようなソフトは、今から先になると無くなっていく可能性があると思うのですが、展望としてはどうでしょうか。

(高崎学校教育課長)

それぞれの教科書会社の方も教材に合わせたソフトをインターネットから取れるようになっていきます。

(永野委員)

一度やると更新は自動的にできるようになっていますからね。

(高崎学校教育課長)

ソフトは基本的なものだけで、後はアプリとかのソフトです。段々、新しい指導要録等の改定になりますけれども、子どもたちにプログラミング技能を学ばせるというのも入ってきています。

(永野委員)

今までのものとするとならぬと新規となるのであれば、これだけお金がかかるのだなと思いました。今まで8年更新だったが、今回は、もし、6年経過してもソフトが更新していけば、今回くらいのお金はかからないのではないかなと思った訳ですが、新しいシステムになればソフトは分かりませんからね。新しいパソコンを購入しますとウインドウズソフトが無くて、インターネットを接続しないと、表計算ソフトも入手できないです。昔の感覚では購入して入力すればいいと思っていましたけれども、今、インターネットを接続しないとソフト関係は無理になってきていますから。大変な世の中になってきています。相当な額でソフトがあるから高額なのかなあと思います。また、学校が多いから台数も多いだろうというものもありますね。

(森教育長)

そうですね。タブレット型ですので、大体、少なくとも2~3人に1台というかたちになっていくのですね。331台ですので、児童生徒数が900余りですから3人に1台となります。

(永野委員)

もちろん、競争入札をされたのでしょうか。

(高崎学校教育課長)

はい。

(永野委員)

はい、分かりました。

(森教育長)

外にご質問ありませんか。

(川原委員)

使いこなす先生といますか、使いこなして最大限に活用できる体制が出来上がっているの

でしょうか。上手く指導できる先生の対応、研修会とか勉強会とか、普段の授業以外に時間を要すると思うのですが。これだけの金額を掛ける訳ですので、効果も期待するのですが、使いこなすまでが大変だろうと思います。実際、児童生徒が使う訳ですから、個人で持っていてもパソコンはなかなか使いこなさない。集団で使って、先生が授業で上手く最大限に活用できるような体制をつくっていかないと、宝の持ち腐れになって学校間の格差が出てくるのではないかという気がします。ひとつ心配があります。

(森教育長)

研修会等、組んでいますか。

(高崎学校教育課長)

予定しております。搬入時、それぞれの使用説明をしていく予定です。

(永野委員)

川原委員からありましたように、良いソフトだから購入している訳でありますので、活用ですよね。この学校は多に活用していて、こちらの学校ではしていないという訳では困ります。研修等、周知徹底して行ってください。

(森教育長)

お金が湯水のように流れていっては困りますので、活用について学校教育課で対応していきます。

(永野委員)

先生たちの自己満足ではなくて、子どもたちにどう反映するかというところですね。

(森教育長)

その他にございませんでしょうか。それでは、ご質問、ご意見無いようですので議決に入りたいと思います。

議案第34号「物品の取得について」原案賛成の方、挙手をお願いします。

(全員挙手あり)

賛成多数でありますので、議案第34号は議決されました。

次に議案第35号「伊佐市立南永小学校に係る住宅使用料助成事業実施要綱の一部を改正する告示の制定について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

(大山総務課長)

議案第 35 号「伊佐市立南永小学校に係る住宅使用料助成事業実施要綱の一部を改正する告示の制定について」説明いたします。資料は、6 ページになりますが、ここで題名の訂正をお願いいたします。題名が「一部を改正する告示について」となっておりますけれども、「一部を改正する告示の制定について」が正しゅうございましたので「の制定」を加えていただきたいと思います。また、別添の新旧対照表も併せてご覧ください。

本件につきましては、南永小学校の児童数の増加を図る目的から設置されております「住宅費助成事業」の助成金申請手続きを簡素化するために、所要の改正を行うものです。具体的には今まで市営住宅にお住まいの方からは、交付申請時に、証明手数料として 300 円を徴収しておりましたが、今後は徴収は行わず、担当課職員（建設課住宅係）の職員確認で証明できるようにしたものでございます。以上です。

(森教育長)

ただいま、事務局より説明がありました。手続きを簡素化するためということでもあります。

今の説明に対しまして、ご質問、ご意見等無いでしょうか。

(川原委員)

毎年、活用している方はいらっしゃるのですか。

(大山総務課長)

利用されていらっしゃる方が3世帯ございます。

(森教育長)

その他にございませんでしょうか。それでは、ご質問、ご意見無いようですので議決に入りたいと思います。

議案第35号「伊佐市立南永小学校に係る住宅使用料助成事業実施要綱の一部を改正する告示の制定について」原案に賛成の方、挙手をお願いします。

(全員挙手あり)

賛成多数でありますので、議案第35号は議決されました。

次に議案第36号「伊佐市教育委員会の事務の点検・評価報告書について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

(大山総務課長)

議案第36号「伊佐市教育委員会の事務の点検・評価報告書について」説明いたします。資料は、10ページですが、別添の報告書案がありますので、それに沿って説明いたします。

本件につきましては、例年実施しております、前年度の教育に関する事務の点検、執行状況及び評価を、今年度も行いましたので、「伊佐市教育委員会の行政組織等に関する規則第11条第17号」の規定により議決を求めるものであります。会議は7月12日と8月22日に開催し、28年度の事業のうち、6施策について、外部有識者による点検及び評価をお願いしました。本日お配りした報告書は、22日の会議での外部評価委員の意見を反映させたものとなっております。

報告書4ページまでは、評価方法や評価項目などの説明があり、6ページから13ページにかけて、教育委員の活動状況として、教育委員会定例会及び臨時会の開催状況及び審議内容等が掲載されております。また、14ページに学校訪問や研修会等の参加状況が記載されております。これらの記載をもとに、15ページから17ページにかけて、教育委員会及び教育委員の活動等についての内部評価と外部評価を記載しております。

定例教育委員会での傍聴者が引き続き0人であったことは、やむを得ない部分があると一定の理解を示された一方、入りやすい、傍聴しやすい開催場所として、市役所以外での会議開催も検討すべき、との意見がございました。

学校訪問や地域活動への参加状況、各種行事や研修会への参加状況については、積極的な参加姿勢を評価され、16、17ページの評価内容となっております。

18、19ページからは、28年度に実施した中から、6つの施策について、内部評価と外部評価等を記載しました。

まず、19ページの「幼小中高連携の推進」については、20ページの下段にあるように、就学前から小学校、中学校、高校への連携は進んでいると評価されましたが、英語強化を中心とした小中高の連携を実施している大口中央中校区と、小中一貫教育を重視した菱刈中校区と、取組みが分かれていることについて指摘され、2つの中学校区で情報共有しながら、有効と思われる取組みについては、速やかに共通の取組みへと展開することが必要、との意見が出されました。

続いて 21 ページ「たくましい気力や体力を培う学校」については、KOBAS 式トレーニングの手法や効果そのものは有効としながらも、現時点で体力テストでのデータで向上が見られないことから、トレーナーの育成と共に、トレーニングを学校や家庭でも実践し、日常的に継続させるような取組みを図る必要性を提言されました。

23 ページ「読書活動の推進」ですが、巡回配本の本数が他市に比較すると少ないことを指摘され、読書場を提供する取組みが十分か検証を求められました。一方、図書館の夏休み期間中の休館日を減らし、学生が利用しやすい環境づくりを図ったことは評価されました。

25 ページ「スポーツ少年団活動の活性化」ですが、少年団の団員数が減少をしている状況では、今後、規模縮小で活動が危ぶまれる少年団が増えると予想されるため、早めの再編案提示など対策が必要と指摘されました。少年団の指導者育成については、研修や講習会の実施について評価をいただき、引き続き青少年の健全育成に資する指導者育成を続けて欲しいとのことでした。

27 ページ「地産地消の推進」については、小規模経営の地元生産者が多く、安定供給を維持しつつ地場産食材の利用率を上げていくことは課題も多い、との意見があり、伊佐市の産品だけでなく、県の学校給食会とも調達先を調整しながら、広く県産品なども含めた地産地消を推進するよう提言を受けてところです。

30 ページ「学校施設の安全対策と教育環境の整備」については、自然災害が増加する中、地域の避難所としての役割も持つ学校の維持管理は一層重要である、との意見があり、耐震補強が早期に完了していたことを改めて評価されましたが、老朽化した外壁の補修など引き続き対応が必要とされました。また、遊具の点検についても学校訪問など定期的な現場確認を続けてほしいとのことでした。以上が教育委員会の事務の点検・評価報告になります。

(森教育長)

ただいま説明がありましたけれども、定例教育委員会を始めとする教育委員の活動、各課の事業等についての内部評価、それに基づく外部評価委員の意見等を掲載している。2回にわたって開催され外部評価委員に検討していただきました。

少し時間をおきたいと思います。

ご覧いただきながらで結構でございます。ご質問、後意見等ございましたら、いただきたいと思います。

教育委員会、この会においては傍聴者が増える方策を考えてほしいということ以外には課題等無いようですが、各課の事業においては工夫しないといけないところがあるようです。そのとおりでありまして、教育基本計画の後期のものをつくっておりますが、その中にこの評価を活かして行こうと考えております。

ご質問、後意見等無いようですが、議決に入ってよろしいでしょうか。

(全員)

はい。

(森教育長)

議案第36号「伊佐市教育委員会の事務の点検・評価報告書について」原案に賛成の方、挙手をお願いします。

(全員挙手あり)

賛成多数でありますので、議案第36号は議決されました。

次に「委員から提出された動議の討論等」に入ります。前もって提出された動議はありませんが、何かございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(森教育長)

無いようですので、「委員から提出された動議の討論等」を終わります。

その他の件に入ります。何かございませんでしょうか。

(川原委員)

夏休みが後1週間ほど残っていますが、学校の問題は何もありませんか。

(高崎学校教育課長)

職員に関しては事故等がありましたが、児童生徒間に関しては何もありません。

(森教育長)

部活動で熱中症はありましたが、軽い程度で済みました。夜更かしが原因ではなかったかという気がしております。

その他ありませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(森教育長)

ないようですので、これもちまして平成29年第8回定例教育委員会を閉会します。

(万膳係長)

姿勢を正してください。一同礼。